

# 茨城県におけるオリジナルコギク品種の育成

茨城県のコギクは、県内の切り花出荷品目では第1位、全国的にも栽培面積が第2位の地位にあり、重要な花き品目となっています。

県では、出荷の中心となる7、8、9月の物日並びにその前後に出荷できる、オリジナル品種の育成をすすめています。



## 新品種の特徴(22年度生産開始)

### ○ 登録品種「常陸サマーレモン」

7月出荷用のレモンイエロー系の黄色で草姿がまとまりのよい頂点咲きで、出荷作業や花束加工に適する品種です。

### ○ 登録品種「常陸サニーホワイト」










7月東京盆の出荷向け。純白に近い白色で草姿がまとまりのよい頂点咲き品種です。

### ○ 登録品種「常陸サマーゴールド」

8月旧盆～盆明けの出荷向け。緑色の照り葉が特長の黄色品種です。



## 23年度生産予定オリジナル品種 (3品種に6品種を加え、計9品種)

	～6月	7月	8月	9月
赤	 常陸サニールビー		 常陸サマールビー	 常陸オータムホワイト
白		 常陸サニーホワイト	 常陸サマースノウ	 常陸オータムパール
黄		 常陸サマーレモン	 常陸サマーゴールド	 常陸オータムレモン